

オープンデータを活用した生成 A I 環境の構築について

1 要旨・目的

生成 A I を活用し、自然言語で入力した質問に対して、特定のシステムやデータベースから情報を取得して回答を生成することにより、複数の関連する情報から、利用者が必要とする情報を幅広く、かつ効率的に提供できる環境を構築する。

今回の環境構築にあたって、情報を取得するシステムやデータベースは、暮らしや住まいなど、幅広い情報が求められる移住関連情報を対象とする。

2 現状・背景

本県の各システムやデータベースが保有するデータについては、システム間のデータ連携が十分にはできていない状況にあり、必要としている情報を簡易かつ効率的に収集・活用できる環境を構築する必要がある。

また、移住相談者には、漠然と検討しているといった検討熟度が低い人も多いことから、移住に向けた検討を深めてもらうため、興味関心や検討熟度に応じてライフスタイルや住居など多岐にわたる情報を効果的に提供する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

移住希望者

(2) 事業内容

- 生成 A I が移住希望者の入力した質問を分析し、複数のシステムやデータベース（ひろしま移住メディア「HIROBIRO.」、ひろしま空き家バンク「みんと。」等）から必要な情報を収集した上で、その情報を生成 A I が解析して自然言語の文章に要約した回答を作成するとともに、関連するホームページのリンクを回答する。

※システム構成図（案）は別紙のとおり

- 生成 A I が収集する情報は、県のホームページ等で公開されている移住支援策や空き家情報等、個人情報を含まないデータを対象とする。
- また、利用者が入力した内容については生成 A I に学習されない環境で構築するとともに、個人情報が入力された場合には警告を出すなどの対策を実施する。

(3) スケジュール

7 月から設計・開発に着手し、令和 7 年 2 月頃にサービス提供を開始予定

(4) 予算（一部国庫）

30,000 千円 ※うちデジタル田園都市国家構想交付金：20,000 千円

(5) その他

- 移住希望者のニーズに応じた情報が提供できるよう、地域政策局地域力創造課や土木建築局住宅課等と連携し、システムを構築する。
- 将来的に他のオープンデータを活用するために、拡張が可能な柔軟性のあるシステムを目指す。